

JCSSA

Japan Computer System Seller Association

一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会ニュース

NEWS

vol.102

2025
Autumn

CONTENTS

- ◆ P. 02 **JCSSA Activity Report**
SAJ × JCSSA 共催 真夏の商談会
- ◆ P. 03 **Special Issue**
ダイバーシティワークショップ
- ◆ P. 04 **JCSSA Activity Report**
第14回アジアIT企業視察ツアー
第10回新会員歓迎懇親会
SAJ × JCSSA 共催
第163回・第164回SAJビジネスコミュニティ
- ◆ P. 05 **JCSSA Activity Report**
第1回New Normal AI Business (NNAB)
人事総務情報交換会
第1回情報システム取引者育成プログラム基礎講座
(前半・後半)
- ◆ P. 06 **JCSSA Activity Report**
第1回・第2回クラウド勉強会
第1回セキュリティセミナー
第1回AI & クラウド販売会議
- ◆ P. 07 **JCSSA Activity Report**
DIS わあるど in 山形
- ◆ P. 08 **New Member!**
新会員紹介
- ◆ P. 09 **JCSSA INFORMATION**
JCSSAのイベント
- ◆ P. 11 **JCSSA INFORMATION**
理事のオフショット
事務所のご案内

2025年10月20日
【発行】日本コンピュータシステム販売店協会広報委員会
【発行人】田辺 正昭
【編集人】窪田 大介
【編集長】小山 敏之
【制作】株式会社BCN

会長挨拶



一般社団法人
日本コンピュータシステム販売店協会

会長 林 宗治

就任7年目に寄せて 会員拡大と新たな取り組み

2019年6月に会長に就任してから、7年目を迎えました。会員社数は2025年8月末時点で489社と、就任時の228社から倍以上に増加しています。皆様からのご紹介ありがとうございました。事務局もフル稼働で入会希望企業を巡っております。

1年ほど前から、会員企業におけるAI活用を発表する「New Normal AI Business」を開始し、会員同士でのアライアンスの可能性も探っております。また、セキュリティ委員会では理事企業の実態調査を行いました。経済産業省による「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」がスタートする前に、まずは自らの健康診断が必要と感じています。結果を会員の皆様に役立てていただけるよう準備を進めております。

地方でのリアルイベントも拡大中です。今年度もさまざまな活動を通じて、できるだけ多くの会員企業の方と接点を作る協会にまいります。

SAJ × JCSSA 共催 真夏の大商談会

12社が製品・サービスをPR

ハイブリッド形式で 交流深める

7月7日、ソフトウェア協会（SAJ）との共催で「真夏の大商談会」を開いた。IT 製品・サービスの作り手と売り手が、ビジネスパートナーシップの創出を目指して交流する恒例イベント「SAJ ビジネスコミュニティ（旧アライアンスビジネス交流会）」の拡大版で、昨年に続いて2回目の開催。ダイワボウ情報システム東京本社の会場とリモートのハイブリッド形式で、プレゼン企業が参加者に向けて自社の製品やサービスをPRした。

当日はプレゼン企業として計12社が登場した。聴講側には、IT 製品の販売店を中心に多くの参加者が集まり、ビジネスの機会を求める多くの人でにぎわった。

プレゼンは4社ずつの3部構成で行われた。第1部では、アクロスソリューションズがWeb受発注システム「MOS」を紹介。FAX や電話による従来の作業をデジタル化できる点や、業界独自の業務フローへのカスタマイズ性の高さ、基幹システムへの連携機能をPRした。セイ・テクノロジーズは、サーバー設定仕様書自動生成サービス「SSD-assistance」について、自動化や多彩なフォーマットによって3ステップで設定仕様書が生成可能で、エンジニアへの属人化を解決できると説明した。コラボスタイルが提供するワークフローシステム「コラボフロー」は、既存の申請書のイメージを保ったままシステム化。外部システムとの高度な連携に対応して一連の業務を効率化すると説明した。コラボスタイルが提供するワークフローシステム「コラボフロー」は、既存の申請書のイメージを保ったままシステム化。外部システムとの高度な連携に対応して一連の業務を効率化すると説明した。ジェイズ・コミュニケーションは安全なWeb 利用を実現するゼロトラスト型の「RevoWorks 製品シリーズ」について説明し、一つの端末を業務用とインターネット利用の二つの空間に分離する最新ラインナップをアピールした。

第2部で、クワンタム・テクノロジーは全文検索システム「A-trek」でAI オプションを開始し、検索性能を強化したと



デモコーナーは大盛況に

報告した。文章要約やタグ付け、自動ファインディングなどを提供している。Renewer は生成 AI の活用を進める「プロンプトジム」を開発し、プロンプト作成能力の向上を支援している。ユーザーが入力したプロンプトを診断したり改善したりする機能を紹介した。ソーバルはAI チャットボットを搭載した規程文書検索システム「R2Mate」について、休業制度に関するやり取りのデモンストレーションを公開し、事務負担とコストを削減する導入効果をプレゼンした。エフアンドエムは、労務管理クラウドサービス「オフィスステーション」がWeb ブラウザ環境で動作することで、アルバイトなども含む全従業員と人事労務部門のスムーズなコミュニケーションを実現すると伝えた。

質疑応答やデモ 名刺交換も活発に

第3部では、パートナープロップがパートナーマーケティングの重要性の高まりを説明し、販売店との関係構築や円滑なコミュニケーションを図るプラット

フォーム「PartnerProp」を紹介した。プロモーションは、社員や採用候補者のビジネス資質とストレス耐性を分析する「ESP 診断」を提案。新卒や中途採用のターゲットを絞り、採用や配置に生かせる上、将来の経営人材の発掘にもつながるとアピールした。スキルマネジメント SaaS「SkillIDB」について紹介したテックピットは、詳細に能力基準を設定しているスキルデータベースをもとに、従業員のスキルセットを可視化し、人材育成に貢献すると訴えた。サーパーワークスは Amazon Web Services (AWS) のクラウド運用をサポートする「Cloud Automator」について、プログラミングなどの専門知識が不要で、作業負担とコストの軽減につながるとした。

各社は持ち時間を最大限活用して発表し、自社製品の魅力をPRした。参加者は顧客課題を解決する多彩なアプローチに熱心に耳を傾け、質疑応答ではソリューションを実現する技術などについて質問があった。休憩時間と全社のプレゼン終了後には、製品デモや名刺交換の場が設けられ、交流を深めた。



ダイバーシティワークショップ

女性活躍を阻む「無意識のバイアス」とは

7月15日、「多様化する働きがいとダイバーシティ風土づくり」と題して、会員企業向けのワークショップを開催した。他者の強みや思いに意識を向け、違う価値観に触れることで視野を広げてもらうことなどが目的。参加者らは、無意識に物事をカテゴリー化する脳の働きに気づくヒントを講師からもらいながら、多様な働き方への道筋を対話を通じて学んだ。

今回のワークショップは、多様な人材が長く活躍できる働きがいのある仕事や職場づくりを目指し、各社が取り組みの第一歩を計画するため開催され、会員企業の社員ら男女約30名が参加した。基調講演には、コーチングの手法を取り入れてマインドセット改善支援を行うA & COで代表取締役社長を務める三竹麻子氏が登壇。「キャリアを阻むバイアスに気づき、Will・Can・Mustで自分を深く知る」をテーマに講演した。三竹社長は始めに、無意識に物事をカテゴリー化する脳の働き「アンコンシャス・バイアス」について参加者に気付いてもらうためのアンケートを実施。アンコンシャス・バイアスは「脳の自動運転」機能だとして、一人一人が思考の癖を持っているということにまずは気づき、知っておく必要性を強調した。

その上で、企業で女性活躍が進まないことに関する無意識のバイアスを例示。「ロールモデルがないから」といった理由が挙げられがちだが、一方で、一部のスーパーウーマンをロールモデルとして提示することは、逆に女性の選択肢を狭めてしまう、企業が陥りがちな失敗だとして警鐘を鳴らした。また、多様な価値観の人材で構成された組織は、不正発生率が低くなるというデータを示した。

講演の最後には、バイアスを外すための三つの視点を紹介。一つめの視点として、頭の中で「事実」や「解釈」と「行動」を分けて整理すると、思い込みが気づくと指摘した。例えば、過去の否定的な経験にとらわれて「やっぱり私は意見を言うべきではない」などと解釈してしまい、バイアスの連鎖で自分を押し込めてしまうことがあるという。こういった「声掛け」を自分自身にしたらいいか考えることで、思い込みから逃れて生産性を上げることにつながると解説。『べき』ではなく『かも』を選ぶと、視野や選択肢を広げることができる」という見方を紹介し、参加者たちを勇気づけた。こうした無意識の偏見があることに気づく思考の



参加者同士の対話で考えを共有した



A & CO
代表取締役社長
三竹麻子氏

コツを「自身や自身の職場で取り入れてほしい」と呼びかけた。

続いて、参加者は数人ごとのグループに分かれ、精神科医の小林玲美子氏がファシリテーターとして会場をリードした。小林氏はまず、長い間鎖につながっていた象が、鎖が外された後も遠くへ行こうとしない絵を見せ、「自分にはできない」と自身を制限してしまう「学習性無力感」を解説。その上で参加者に、自分を見つめ直しキャリアの軸を言語化する個人ワークとして「やってみたいこと (Will)」「できること (Can)」「求められていること (Must)」を整理するよう促した。その際、ワークに正解はないため、仕事に限らずやりたいことと自分の素直な気持ちをブレインストーミングするように勧めた。

自分の価値観以外の他者の価値観があることを念頭に置いた上で、それぞれのグループでのダイアログが進行。コーチが各グループに加わり、お互いにインタビュー形式でワークの内容を順番にシェアした。

その後は、出された意見やそれについてどう思ったかを各グループの代表者がまとめて発表。「組織を大きくしたい」「働く場所を選びたい」といった Will、「メンタルが強い」「根回しができる」などの Can のほか、「周囲を巻き込まないといけない」という Must などが紹介された。さらに「『家族と一緒に旅をしながら働きたい』という意見を聞き、自分は独身でそういった考えがなかったことに気付いた」という反応や、「転職をするとかいう話はよくするが、『役員になりたい』という希望を聞き、そうした発想はなかったので良いなと思った」といった感想が挙がった。小林氏は、他者の価値観を知り自分の可能性を認識していくことが明日への一歩になると鼓舞した。



医師
小林玲美子氏

JCSSA Activity Report

July

7月

第14回アジアIT企業視察ツアー

ベトナムIT市場の可能性を探る

7月8日から12日にかけて「第14回アジアIT企業視察ツアー」を開催し、鈴木範夫団長（日興通信代表取締役社長、JCSSA 理事）のもと、参加者20名でベトナムの首都ハノイを訪問した。

今回のツアーでは、急

成長するベトナム

のIT業界を体感

し、現地の技術

力と最新技術の活

用状況を視察した。また、低コストでの開発環境やオフショア開発の可能性を探り、今後のビジネス展開のための示唆を得る機会となった。

詳細は視察レポートをご覧ください。

ハノイで経済の急成長を体感



高い効率と技術を誇る開発体制を知った

視察レポート https://www.jcssa.or.jp/tour_index2/#asia

July

7月

第10回新会員歓迎懇親会

今年の新会員と 協会幹部が交流



7月17日、日本ビジネスシステムズ本社内のダイニング「Lucy's Tokyo」にて、2025年1月～4月に入会した新会員を招き、協会幹部と相互交流を深めていただく懇親の機会をもった。当日は新会員18社36名、協会幹部・関係者50名の合計86名が参加した。次回は10月6日に開催の予定。

新規入会の18社が参加した

July

7月

September

9月

SAJ × JCSSA 共催

第163回・第164回 SAJ ビジネスコミュニティ

恒例イベントが新名称に刷新

ソフトウェア協会（SAJ）との共催で、7月23日に第163回、9月17日に第164回の「SAJ ビジネスコミュニティ」を、東京の市ヶ谷健保会館とオンラインのハイブリッド形式で開催した。これまで年5～6回の頻度で行っていた「アライアンスビジネス交流会」を改称。より多くの企業にとって、ビジネスの成長につながる交流の場を提供することを目指す。

第163回では4社がプレゼンテーションを行った。日本事務器は、企業システムの潜在的なリスクを可視化するアタックサーフェスマネジメント（ASM）サービス、シンスターは、組織の力を最大化する

「巻き込み力」などを高める企業向け研修サービス、ZenmuTechは、秘密分散技術によりPCからの情報漏えいリスクを解消する「ZENMU Engine」、FunTreは、Web制作やSNS運用などを包括的に提供するデジタルマーケティング支援サービスを紹介した。

第164回では沖縄ITイノベーション戦略センターのシニアリサーチャーである北嶋修氏を招き、沖縄のIT産業や企業向け支援策について説明いただいた。続く4社のプレゼンテーションで、AXLBITは、帳票のチェックやデータ入力をAIで自動化するSaaSの「SAIS InDocs」、ユニリタは、SaaSとオ



プレゼンに加えて交流も盛んに

ンプレミスを連携するETLツールの「Wahal! Transformer」、システムシェアードは、若手エンジニア向けに実践的な研修を提供する「リアプロ」、受発注パスターズは、受

発注書や見積書などのデータ入力を自動化する同社のサービスを紹介した。

次回もハイブリッド形式で11月11日に開催する予定。

JCSSA Activity Report

August

8月

第1回 New Normal AI Business (NNAB)

会員企業のAI活用ノウハウを共有

8月4日、今年度の第1回 New Normal AI Business をオンラインにて開催し、過去最多の452名が参加した。

テーマ1「～見えてきたAIの誤解と課題～ そのAI本当に業務に適していますか?」では、JCSSA 会長でソフトクリエイティブホールディングス代表取締役社長の林宗治氏(写真左)と同社事業推進本部製品開発部上席部長の畠山寛氏が、テ

マ2「AIで可視化! 感謝が育むスキルの森 ～部下育成に効くマネジメント革命～」では、6月にJCSSA 理事に就任したPHONE APPLI 執行役員CWOの藤田友佳子氏(写真右)と同社取締役副社長CCXOの中川紘司氏が講師を務め、両社のAIへの取り組みを会員企業と共有した。

動画・資料については、会員ページにログイン後、右記のURLをクリックし活動報告をご覧ください。

会長、理事が自社の事例を紹介した



活動報告 <https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php#cloud2025>

August

8月

人事総務情報交換会

IT企業が抱える“人”の問題を議論

8月22日、例年好評をいただいている「人事問題に関する情報交換会 ～人事総務情報交換会～」を東京の市ヶ谷保健会館で開催し、48名が参加した。

JCSSA会員のインターネットインフィニティーで執行役員を務めるセントワークス代表取締役の播本賀彦氏は、「甘い対策が致命傷に。気づけば人が辞めていく“介護リスク”」をテーマに講演。続いて、

同じくJCSSA会員のトークオリティサポートで代表取締役社長を務める原田善夫氏が、「セカンドキャリア(50代からの準備)～人事編～」についての講演した。

最後に、「JCSSAのダイバーシティ推進に向けた2025年度の取り組みについて」と題して、JCSSA コミュニティ委員会の佐藤弥生副委員長より、7月15日に開催したダイバーシティワーク

人事・総務関係の48名が参加した



ショップとその反響をご説明した。11月6日にはダイバーシティ推進フォーラム2025の開催を予定している。

講演後は交流会を開催し、普段互いに接する機会が少ない会員企業の人事・総務関係者間で懇親を図った。

August

8月

September

9月

第1回情報システム取引者育成プログラム基礎講座

取引の法的トラブルをどう回避するか

8月28日(前半)、9月4日(後半)の2日間、今年度の「第1回情報システム取引者育成プログラム基礎講座 ～IT取引のリスクと対策

～」をオンラインで開催し、180名あまりが参加した。講師を務めたのはブレイクモア法律事務所弁護士の伊勢知紘氏(写真)。

情報システム取引の契約で生じるリスクやトラブルを防ぐため、経済産業省が

公開している「情報システム・モデル取引・契約書(追補版)」をもとに、公正な契約に必要な法務、契約実務の知識を有する人材を育成し、信頼性の高い情報システムの構築に寄与することが目的。情報システム構築に特有の取引プロセスに関する

問題点を明らかにし、ユーザー／ベンダー間の相互においてどのようにトラブルを回避していくべきかを学んだ。

例年開催している講座だが、今年度はより深い理解を得ていただくため、受講対象者を分けて実施。今回の第1回は管理者向けで、第2回は一般社員に向けて11月6日(前半)および11月13日(後半)に開催する。

専門家の講義にオンラインで約180名が参加

JCSSA Activity Report

August

8月

September

9月

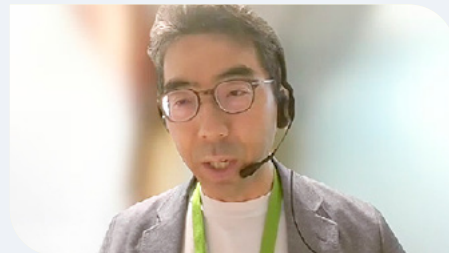
第1回・第2回クラウド勉強会

生成AIによる業務効率化の実現方法

8月5日、今年度第1回目の「クラウド勉強会」をオンラインにて開催し、187名が参加した。テーマは「クラウドと生成AIが実現する新しいビジネスの形～AWS最新活用事例と実践デモから学ぶ～」で、講師を務めたのはJCSSA会員のアマゾンウェブサービス（AWS）ジャパンでパブリックセクター技術統括本部CSM・パートナーソリューション本部本部長を務める高田智己氏（写真上）と、技術統括本部パートナーセールスソリューション本部本部長の相澤恵奏氏。クラウドの基礎に関して改めて触れ、AWSの最新活用トレンド、業界別の具体的な成功事例についてご説明いただき、後半は「生成AI実践編」として、話題の生成AI技術を

ビジネスで使いこなすポイントをライブデモで実演し、業務効率化の具体例を紹介いただいた。

9月16日に同じくオンライン開催した第2回には228名が参加した。テーマは「マイクロソフトのクラウド&AIプラットフォーム戦略について」で、講師を務めたのは、JCSSA会員の日本マイクロソフトで業務執行役員クラウド&AIプラットフォームGTM本部本部長を務める内山拓氏（写真下）。同社の最新AI技術とクラウド&AI Platform戦略の全体像のご紹介とともに、Azure OpenAI Serviceなどの活用例を通じて、業務変革を支えるAIの可能性をご説明いただいた。また、国内外の顧客事例を交えながら、実際の導入効果や



クラウド大手2社が最新事例を紹介



ユースケースについてもご紹介いただいた。

最終回の第3回は10月21日に開催する。

September

9月

第1回セキュリティセミナー

会員に脆弱性などの診断を実施

9月1日、JCSSAセキュリティ委員会主催による「2025年度第1回JCSSAセキュリティセミナー」をオンライン形式で開催した。今回のテーマは「アセスメント」で、会員企業数十社の協力のもと実施されたアタックサーフェス（攻撃対象領域）診断の結果をもとに、業界全体の傾向や課題について解説を行った。第1部では、診断結果の分析を通じて脆弱性の傾向や原因が明らかにされ、第2部は専門家による対談形式で、具体的な対策や改善ポイントを提示した。

参加者からの質問も活発に寄せられ、実務に直結する有益な情報共有の場となった。今後のセキュリティ戦略に資する内容として、参加者からは高い評価を得た。

September

9月

第1回AI&クラウド販売会議

オンプレミスで使える生成AI

クラウドサービスを提供する会員各社の最新情報を紹介することを目的として、9月16日に今年度第1回目の「AI&クラウド販売会議」をオンラインにて開催し、78名が参加した。

テーマは「NECの生成AIに関する取り組みについてcotomiと美琴」で、JCSSA会員の日本電気



（NEC）でAIテクノロジーサービス事業部門エバンジェリストを務める石川和也氏（写真）が講師を務め、生成AIのトレンドとビジネス適用に向けたポイントを解説いただいた。

同社自身が独自の生成AI「cotomi」を使って実践している事例や、製造・物流領域でのAI活用例に加え、大塚商会との協業で中堅・中小企業向けに提供する、cotomiをより安価で手軽に導入可能な「美琴」を紹介。オンプレミス環境で国産生成AIを使用できる安全性の高さ、性能を最大限に発揮できる高信頼性のサーバー、日本語の多様な文脈理解と性能など、美琴のさまざまな特徴を説明いただいた。

第2回は10月21日に開催する。

日本語の文脈理解への強みをアピール

JCSSA Activity Report

September
9月

DIS わあるど in 山形

山形が IT の熱気に包まれた 2 日間

山形ビッグウイングに約 180 社が出展

9月10日と11日、ダイワボウ情報システムが開催した同社の年次イベント「DIS わあるど in 山形」に JCSSA ブースを開設した。会場は山形市の山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）で、イベント全体では国内外の約 180 の企業・団体が出展し、2日間合計で 4032 名の来場があった。地元や東北地方はもちろん、全国から会場を訪れる参加者で山形は大いににぎわい、市内に宿泊先を確保できなかった業界関係者が遠く仙台から通うことになるほどの盛況だった。

JCSSA ブースの展示は、主に昨年から今年にかけて協会へ入会した会員企業で構成。アキュアズは多要素認証ソリューションの「JinCreek」シリーズ、アリスは情報システム部門を支援するヘルプデスクサービス、ATEN ジャパンは安全に遠隔操作が可能なハードウェア式端末リモート製品、エフアンドエムは人事・労務を支援する SaaS の「オフィスステーション」



シリーズ、Kiva は PC 操作を自律的に行うワークフロー型 AI エージェント「SAMURAI」、ジェイズ・コミュニケーションは自治体向けのネットワーク分離ソリューション「RevoWorks」、シー・シー・ダブルは減農薬支援システム「モールドアイ」、シンカは顧客への電話対応をクラウドで一元管理する「カイクラ」、データセクションは GPU 搭載サーバーや国産 AI 基盤

「TAIZA」、日本フォーシーエスは電子契約サービス「eformsign」を活用した自治体窓口の DX ソリューションをそれぞれ出展した。

初日の夜には山形グランドホテルで、出展企業や関係者を対象にした懇親会を開催した。17 社 34 名が参加し、協会の窪田大介専務理事による乾杯で開宴。名刺交換や懇談を通じて、参加者間で活発な交流が行われた。

林会長もブースで協会を PR



新会員企業が並ぶ JCSSA ブース



出展した会員企業での懇親会も開催

New Member!

月別社名五十音順
協会代表者役職名 / 氏名

July

7月



株式会社クオリティ・アイ

<https://quality-i.jp/>

取締役 CMO 水野 健



株式会社グッドワークス

<https://www.good-works.co.jp/>

代表取締役 須合 憂



jinjer 株式会社

<https://jinjer.co.jp/>

パートナー・リージョナルセールス部 部長 藤久保 光



デジタルリユース株式会社

<https://www.digital-reuse.com/>

代表取締役社長 及川 信之



株式会社ノートンライフロック

<https://jp.norton.com/>

リテール営業本部長 豆田 竜也



株式会社パシフィックネット

<https://www.prins.co.jp/>

取締役 老川 賢



バルテス・ホールディングス株式会社

<https://www.valtes-hd.co.jp/>

執行役員 土方 祥吾

August

8月



サビテックジャパン株式会社

<https://sabitech.co.jp/>

営業部 アカウントマネージャー ファム・ティ・リン



株式会社 JECC

<https://www.jecc.com/>

営業統括本部 副本部長 高嶋 俊裕



株式会社日本システムブレンズ

<https://www.nsb.jp/>

事業推進部 部長 水野 公夫



株式会社ブリングアウト

<https://www.bringout.biz/>

VP of Sales 泉川 英一

September

9月



エスコ・ジャパン株式会社

<https://www.escco.co.jp/>

代表取締役社長 李 顕庫



株式会社ケーイーシー

<https://www.kec-sp.com/>

代表取締役社長 篠崎 淳一



deex 株式会社

<https://www.deex.co.jp/>

代表取締役 牛丸 順登



株式会社ナレッジワークマネジメント

<https://www.kwork.jp/>

代表取締役 大坪 秀昭



株式会社 LIFULL Leadership

<https://lifull-leadership.co.jp/>

代表取締役社長 吉田 宗興



株式会社リッケイ

<https://rikkeisoft.com/ja/>

代表取締役社長 Bui Quang Huy

October

10月

第11回新会員歓迎懇親会

日時 10月6日(月) 18:00-19:30

場所 日本ビジネスシステムズ本社・Lucy's TOKYO
東京都港区虎ノ門 2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

管理職研修(後半)

日時 10月10日(金) 10:00-18:00

場所 市ヶ谷健保会館
東京都新宿区市谷仲之町 4-39

米国エグゼクティブツアー

日時 10月12日(日) ~ 18日(土)

場所 米国・シリコンバレー

第2回 New Normal AI Business (NNAB)

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509290001>

日時 10月20日(月) 14:00-15:00

場所 Zoom ミーティング

第3回クラウド勉強会

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509010001>

日時 10月21日(火) 13:00-14:00

場所 Zoom ミーティング

第2回 AI & クラウド販売会議

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509180001>

日時 10月21日(火) 14:10-15:10

場所 Zoom ミーティング

10月度定例セミナー

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509170001>

日時 10月22日(水) 13:00-14:30

場所 Zoom ミーティング

ヤマハ見学会

日時 10月30日(木) ~ 31日(金)

場所 ヤマハ本社
静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

November
11月

ゴルフ交流会

日時 11月3日（月・祝） 8:00-17:30 場所 相模原ゴルフクラブ
神奈川県相模原市南区大野台 4-30-1

第2回情報システム取引者育成プログラム基礎講座

詳細・お申込み https://www.system-tr.jp/?page_id=3

日時 前半 11月6日（木） 14:00-15:00 場所 Zoom ウェビナー
後半 11月13日（木） 14:00-15:00

ダイバーシティ推進フォーラム 2025

詳細・お申込み Web参加 <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509260002>
会場参加 <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509260001>

日時 11月6日（木） 14:00-19:00 場所 ハイブリッド開催 大塚商会本社
東京都千代田区飯田橋 2-18-4 | Zoom ウェビナー

営業提案力研修

詳細・お申込み <https://www.jcssa.or.jp/seminar1/?semild=202509270001>

日時 前半 11月7日（金） 9:30-18:00 懇親会 18:15-19:45 場所 市ヶ谷健保会館
後半 2026年2月20日（金） 9:30-18:00 懇親会 18:15-19:45 東京都新宿区市谷仲之町 4-39

SAJ × JCSSA 共催 SAJ ビジネスコミュニティ

日時 11月11日（火） 15:00-17:00 場所 ハイブリッド開催 市ヶ谷健保会館
東京都新宿区市谷仲之町 4-39 | Zoom ウェビナー

第14回 NIPPON IT チャリティ駅伝

詳細 <https://www.nit-run.com/>

日時 11月16日（日） 場所 お台場 シンボルプロムナード公園 セントラル広場
東京都江東区青海

December
12月

第3回 New Normal AI Business (NNAB)

日時 12月1日（月） 14:00-15:00 場所 ハイブリッド開催
日本ビジネスシステムズ本社 | Zoom ミーティング
東京都港区虎ノ門 2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

理事の オフ ショット

模型作りにはまって

理事 鈴木 範夫

「こんなの出たわよ」と2005年に家内から教えてもらった、デアゴスティーニの週刊『戦艦大和を作る』。2年で全90号がそろったが、全長1.2メートルの



模型の完成には15年を要した。

長い年月がかかった理由は、飲んで帰った日は作業できなかったということもあるが、より実物に近づけたいと深みにはまっていったからだ。キットの添付品では飽き足らず、資料を集めて部品を自作し始め、呉の

大和ミュージアムにも4回足を運んだ。

大和の主砲の照準を合わせる測距儀は日本光学工業（現ニコン）、アンテナは八木アンテナ、水面下の潜水艦探知機は住友通信工業（現NEC）によるものだ。巨大な船体を下層から効率的に

組み立てるブロック工法は、戦後の超高層ビル建設に活かされた。いわば当時の最先端技術の塊に、明治維新以降の日本人の熱い思いを感じる。模型づくりはい

ま、10年計画で2隻目に入ろうとしている。

JCSSA理事の中で在任が最長ということで、正副・名誉会長の次に本コラム執筆の順番が来た。これからも、皆様と一緒に少しでも社会にお役に立てればと考えている。

JCSSA 事務所のご案内

〒100-6208 東京都千代田区丸の内 1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内（受付13階）

TEL:03-6860-8254



JR「東京駅」京葉線連絡 徒歩4分
JR「東京駅」八重洲南口 徒歩5分
東京メトロ銀座線「京橋駅」徒歩5分